

一人ひとりが心豊かに  
生きがいのある人生を  
送れるように支援します

# 生涯学習だより

おもしろ楽習スクール21開催

昨年度に引き続き、子どもたちが学問本来の面白さに触れ、「知る楽しさ」を知ってもらおう講座「おもしろ楽習スクール」を開催しました。

今年度は小学5～6年生を対象に、国語・英語・理科の3科目を実施しました。

国語はGTCOMIXを会場に、「ハッピーコミュニケーション」講師に元栃木放送のアナウンサー 剣持孝信氏を迎えました。子どもたちがボイスストレーチやボイストレーニングを通して、発声の仕方や表現を学び、朗読や自己紹介などにその効果を実感しました。



英語は少人数の実施でしたが、英会話を中心にした内容で、和氣藹々と楽しく勉強しました。

講師の粥見美夏先生は、海外経験も豊富で、日本の食べ物・お店・行事などを英語で質問したり紹介する表現に、みんな関心しきりです。



理科は、昨年に引き続き石橋高校の理科室を会場に様々な実験を体験しました。

講師陣は、「下野市自然に親しむ会」(代表・吉住正氏)のみなさんで、光合成の仕組みや浮力の不思議さを、実験を通して勉強しました。

今後も、いろいろな体験が出来る講座を開設し、「知る楽しさ」をぜひ味わってほしいと思います。



学校支援ボランティアアミッセ  
(見本市)開催

8月10日(月)に石橋中学校を会場に、市教職員全体研修会と市ふれあい学習推進委員会の合同研修会が開催されました。

前半は、講演会「“公設地営”的な双方向の連携のあり方」として、朝霞市立朝霞第二小学校校長金山康博先生を講師に迎え、人的な「地域資源」を再認識・再発見し、それらを効率的・日常的に「人材活用」することの意義についてお話いただきました。



後半は、石中のアトリウムで、市内のボランティア団体・個人が実施している学校支援活動について紹介し、学校側にアピールする「見本市(メッセージ)」を開催しました。

学校の先生方と市民のボランティアが情報を交換し合い、どのような活動が学校で活用できるか検討します。

子どもたちにより良い学習環境を提供できるようになる方策を、これからも考えていきます。



参加者の感想から

学校から地域へ、いかに連携を図るかが大事だと思った。公設地営の重要性を感じた。地域の人々との付き合い方をもっと考えなくてはと思った。

楽しく地域を巻き込んだ学校経営を、自然にできるようにしたい。